

大阪市中央区

地域活動協議会 活動ヒント集

Vol.2

地域を支え、元気にする地域活動を課題ごとにご紹介します



平成 29 年 12 月
中央区まちづくりセンター

本冊子のねらい

地域の各種団体が連携を強めることで、地域活動をより活発に、より効率的にしようとスタートした新しいしくみ「地域活動協議会」（略称：地活協）。平成 25 年に発足して 5 年が経過しようとしています。

この間、各地域では、「ふれあい喫茶」や「高齢者食事サービス」など長年取り組んでこられた事業を継続しつつ、新たな課題にも、みなさんの知恵を集め、チャレンジされています。

中央区まちづくりセンターには、各地域から、他の地域の活動についての問い合わせをいただく機会が増え、毎年開催している地域活動協議会活性化セミナーでは、それぞれの地域から新たな取り組みについて、ご紹介いただいています。

本冊子「活動ヒント集 Vo. 2」は、地域のご協力のもと、各地域の取り組みについてご紹介させていただいた「活動ヒント集 Vo. 1（平成 29 年 1 月発行）」に新たな項目を加えました。地域の課題解決、あるいは地活協の新たな取り組みに向けて、ご参考にしていただければ幸いです。



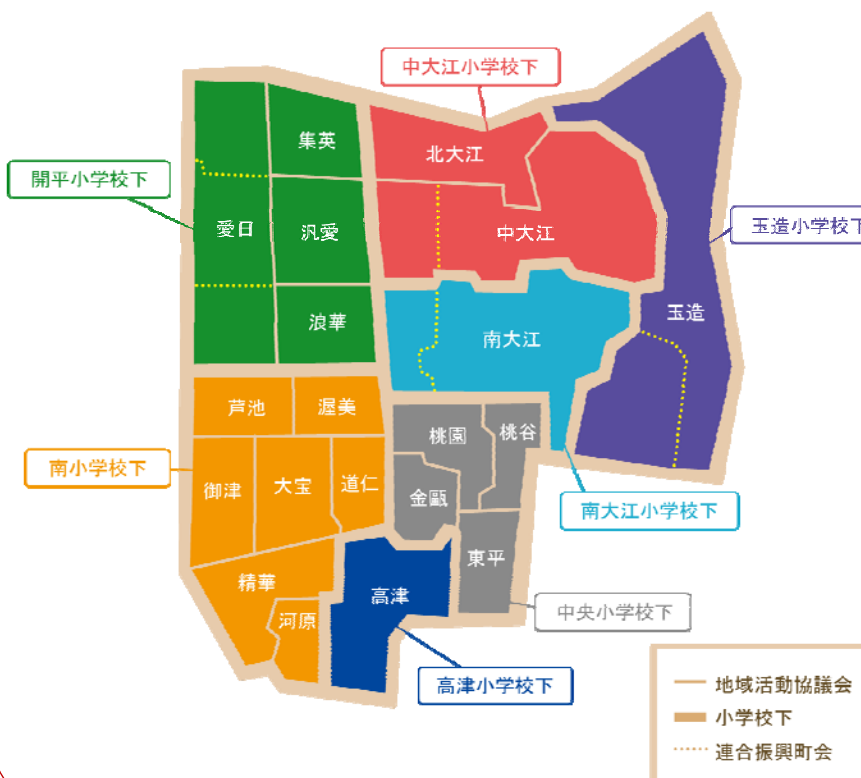
高齢者食事サービス



ふれあい喫茶

地活協（地域活動協議会）とは

地活協（地域活動協議会）は、地域振興会や地区（校下）社会福祉協議会をはじめとした地域団体や企業、NPOなどが幅広く集まり、地域課題などを話し合い、協力しながらまちづくりに取り組むしくみです。中央区では、20 の地域活動協議会が活動しています。



地域活動協議会のねらい

- 地域活動への参加者の増加
- 地域の各種団体との連携の拡大
- 地域活動の担い手の発掘
- 地域に必要な新しい取り組み実践

もくじ

1. たくさんの住民に地域活動を伝える	3
● 地域活動協議会紹介チラシ・ポスター・パンフレット	
● ホームページ・フェイスブック	
● 町会加入促進チラシ	
2. 新しい住民も気軽に参加しやすい活動を企画する	5
● モーニング喫茶	
● 納涼ビアガーデン	
● 島之内ふれ愛フリーマーケット	
3. 地域の安全は地域で守る	6
● 南小学校避難所開設訓練	
4. 新たな担い手による新たな活動を企画する	7
● 高津わいわいまつり	
● 地域のこれからを考える意見交換会	
● 桃谷男の料理教室	
● 東平月見の会	
● 北大江ピクニックオフィス	
5. マンションなど建設段階から地域との関係をつくる	9
● 建設ガイドライン	
6. お年寄りや外国にルーツを持つ住民の孤立化防止を工夫する	10
● 外国にルーツを持つ住民向け相談会	
● 南大江土間カフェ	
● 大宝住民座談会	
7. 健康づくりに地域みんなで楽しく取り組む	11
● 南大江健康ウォーク	
● たまづくり健康ハイキング	
● 玉造地域健康講座	
● 芦池健康教室	
8. 企業の協力で地域活動を多様化する	12
● 南船場子育て応援団	
● はちけんや防災訓練	
9. まちの資源を活かして地域固有のにぎわいをつくる	13
● 北大江たそがれコンサート	
● 振舞いぜんざい・船場講演会	
● 河原連合盆踊り大会	
● 桃谷おもろい塾	
10. 地活協設立以前から引き継がれている伝統事業	14
● たまづくり盆あどり大会	
● サークルちゅーりっぷ（子育て応援団）	

たくさんの住民に地域活動を伝える

地活協や地域活動に馴染みのない方に、わかりやすく、みんなに伝わるように工夫した広報に取り組まれています

課題

- ・地域活動や地活協・地域団体が十分に知られていない
- ・子育て世代や若者に地域活動への参加者が少ない
- ・新しい住民などに地域活動への呼びかけができていない

課題を解決するための手法



- ・わかりやすいチラシやポスター、パンフレットなどで、地域のみんなに伝える
- ・紙の資料だけでなく、ホームページなどインターネットを活用して周知する
- ・イベントやポスターで町会加入をPRする

地活協紹介チラシ・ポスター・パンフレット（愛日、汎愛、桃園、桃谷、渥美など）

★ チラシ・ポスター・パンフレットの広報物の作成に関する工夫

- ・各地域では、地活協の行事や年間スケジュール、構成団体などの紹介を掲載するなど工夫しています
- ・また、写真やイラストを使い、わかりやすく、インパクトのあるものを作ることで、目をひきます
- ・地域でデザインが得意な方や、デザイン会社に依頼するなど、工夫しています

★ 広報物の周知方法に関する工夫

- ・掲示板への掲示や各戸に配布、さらにマンション内での掲示をお願いすることで、広く周知しています

★ まちづくりセンターでは、地域の方と話し合いながら、作成をお手伝いしています

桃谷連合 地域活動協議会 2016年（平成28年）

2016年度 年間行事予定

7月31日(土)～8月7日(日)	…ラジオ体操
8月6日(土)	…子ども水遊び
9月3日(土)	…防災訓練(敬老会同時)
9月17日(土)	…中秋の名月会
9月19日(日)～20日(月)	…敬老のお祝い会
9月24日(土)	…桃谷コンサート
10月9日(日)	…空遊・桃谷ふれあいまつり
11月5日(土)	…ふれあい夜中会
11月13日(日)	…子どもお祭り勉強会
12月11日(日)	…子ども餅つき会
1月11日(日)	…桃谷会館 披露宴

2016年度 年間行事予定 (続き)

2月1日(日)	…新春お楽しみ会
2月13日(土)	…敬老会
2月27日(土)	…敬老会
3月13日(土)	…敬老会
3月27日(土)	…敬老会
4月10日(土)	…敬老会
4月24日(土)	…敬老会
5月8日(土)	…敬老会
5月22日(土)	…敬老会
6月5日(土)	…敬老会
6月19日(土)	…敬老会
7月3日(土)	…敬老会
7月17日(土)	…敬老会
7月31日(土)	…敬老会
8月14日(土)	…敬老会
8月28日(土)	…敬老会
9月11日(土)	…敬老会
9月25日(土)	…敬老会
10月9日(土)	…敬老会
10月23日(土)	…敬老会
11月6日(土)	…敬老会
11月20日(土)	…敬老会
12月4日(土)	…敬老会
12月18日(土)	…敬老会
1月1日(日)	…敬老会
1月15日(日)	…敬老会
1月29日(日)	…敬老会
2月12日(日)	…敬老会
2月26日(日)	…敬老会
3月12日(日)	…敬老会
3月26日(日)	…敬老会
4月9日(日)	…敬老会
4月23日(日)	…敬老会
5月7日(日)	…敬老会
5月21日(日)	…敬老会
6月4日(日)	…敬老会
6月18日(日)	…敬老会
7月2日(日)	…敬老会
7月16日(日)	…敬老会
7月30日(日)	…敬老会
8月13日(日)	…敬老会
8月27日(日)	…敬老会
9月10日(日)	…敬老会
9月24日(日)	…敬老会
10月8日(日)	…敬老会
10月22日(日)	…敬老会
11月5日(日)	…敬老会
11月19日(日)	…敬老会
12月3日(日)	…敬老会
12月17日(日)	…敬老会
12月31日(日)	…敬老会

連絡先: 桃谷会館 老人憩いの家 大阪市中央区上本町西2-5-25 TEL: 06(4304)2266

この画像は、様々な地域活動の告知用紙（チラシ、ポスター、パンフレット）のコレクションを示しています。色とりどりのデザインで、イベントの日程や内容が一目でわかるようになっています。背景には「桃園地区 地域活動協議会」のロゴや「年間行事」のスケジュール表も一部見えます。

ホームページ・フェイスブック（浪華、北大江、中大江、南大江）

★ インターネットを活用した広報

- ・ホームページやフェイスブックを活用し、若い世代に向けて情報発信します

★ インターネットを活用する際の注意点

- ・ホームページやフェイスブックは、不特定多数の方に広く情報を気軽に発信できます
- ・一方で、誰でも目にすることができ、写真などが鮮明なため、容易に個人を特定できてしまうため、個人情報に対する配慮が必要不可欠です
- ・円滑に情報発信するためにも、発信する情報を取り扱うルールや担当者を定めることが大切です

★ まちづくりセンターでは、ホームページとフェイスブックページを作成・運用支援しています



ホームページでの情報発信



フェイスブックでの情報発信

中央区まちづくりセンターホームページ
<https://chuoku-machisen.jimdo.com>



中央区まちづくりセンター フェイスブック



「大阪市中央区
 まちづくりセンター」
 で検索！



町会加入促進チラシ（中大江・北大江）

★町会加入促進に向けた取組

- ・イベント時に町会加入をPRするチラシを配布しています
- ・地活協のパンフレットやポスターに町会加入のPR文を記載しています
- ・「気軽に」「わかりやすく」作成することがポイントです



新しい住民も気軽に参加しやすい活動を企画する

新しい住民、特に子育て世代や若い人が地域活動に参加を促すために、企画に成功している取り組みがあります

課題

- ・ふれあい喫茶など行事への参加者が固定化している
- ・マンションが増加するなか、新しい住民、特に子育て世代や若い人が参加しやすい行事やきっかけが少ない

課題を解決するための手法



- ・子育て世代や若い人も参加しやすい週末などにイベントを企画する
- ・子育て世代や若い人が楽しめるイベントをPTAなどと一緒に企画する

モーニング喫茶（桃園）

★誰でも参加できるように開催日を変更

- ・「ふれあい喫茶」を毎週金曜日に開催していましたが、参加者の固定化が課題でした
- ・また、住民アンケートでは「日程が合わない」という意見もありました
- ・そこで、住民が気軽に参加できる日曜日（奇数月）に、新たに「モーニング喫茶」を始め、好評を得ています

★一部の人に負担が偏らない工夫

- ・運営スタッフは、PTA や女性会に協力を依頼するなど、新たなメンバーが担い手となっています

モーニング喫茶

喫茶店のモーニングのように気軽に参加して欲しいという思いを込めて名付けられました



納涼ビアガーデン（桃園）

★新しい住民が初めてでも楽しめる企画を立案

- ・マンションが増加するなか、新しい住民にも地域活動に親しみやすく、初めて参加する人でも一目で楽しそうと伝わる企画「地域版ビアガーデン」を立案しました
- ・子ども連れでも気軽に参加できるように、子ども向けの夜店を設けるなど工夫しています

★若い世代が中心となり運営し、同世代の住民を取込む

- ・子ども会や青年会、青少年指導員など若い世代が中心になって運営しました
- ・口コミやインターネットなどで人の輪が広がり、マンションに住む新しい住民、特に30～40歳代が多数参加する行事として定着しています



島之内ふれ愛フリーマーケット (道仁)

★ 手づくり品や掘り出しものを売り買いしながら気軽に交流

- 平成 29 年で第 16 回を迎えた中央会館での島之内ふれ愛フリーマーケットは、ものの売り買いを通じて誰でも気軽に交流できる恒例行事

★ 子どもたちが主役のハロウィンコンテスト

- 10 月と言えば...と、新たに組み合わせられたのが、ハロウィンの仮装体験とコンテスト。地域の若手メンバーが子どもたちのために企画しました
- 仮装体験のペインティングや衣装は高津理容専門学校の学生が担当。コンテストでは、子どもたちは思い思いの仮装で、すっかりなりきって舞台上に登場。役員のみなさんの「イイネ」のフリップにおとなも子どもも会場全体が多いに盛り上がりました



3

地域の安全は地域で守る

大きな災害が発生したら…。南海トラフ地震、上町断層地震と大きな二つの地震の発生が想定されている中央区内では、地域の安全を守るために、地域の特性にあわせた取り組みが行われています。

課題

- 災害が発生した場合、どのように行動すればよいかわからない
- 毎年行っている訓練はマンネリ化し、参加者が減少しがち

課題を解決するための手法



- 多数、多様な関係者に訓練への参加を呼びかけ、訓練を何度も繰り返し、イザという時の確かな判断ができるようにする
- 訓練は、毎年の企画と反省のもと計画的に積み重ね、年度ごとのテーマを定めて行う

南小学校避難所開設訓練 (御津・大宝・精華)

★ 「助かる命は助ける」を合い言葉に学校、PTA と密に連携

- 南小学校では、「助かる命は助ける」を合い言葉に、御津、大宝、精華の 3 地域が協力して、避難所開設訓練を行っています
- 小学校とは密に連携し、6 年生が各班に入り、訓練を実施し、将来、災害時の力になってくれることを期待しています。また、訓練終了後には児童の引き取り訓練を行っています

★ 物心両面の備えが大切

- 「物」の面では、トランシーバーや乾電池、救急セットなど毎年計画的に購入し、リストに整理
- 「心」の面では、正しい判断、迅速なアクション、近隣の協力が何よりも大切と、話し合いを重ねています



南小学校 備蓄品リスト

1年約25万円の予算...4年かけて備蓄(計約100万円)・地区協会の補助金を利用

整理 No.	品名	入数	単価	数量	総数	金額	備考	購入年	期限切れ
1	ケンウッドトランシーバー UBZ-1M20BK	1	9,380	8	8	75,040	避難所 各都道府県 (便利！)		
2	ケンウッドトランシーバー イヤホンEA20R UBZ-LP	1	1,080	8	8	8,640			
3	トイレットペーパー	18	429	12	216	91,440			
4	ファミレスペーパー	5	249	24	120	5,904	避難所用に備定 避難者には配らない。 10年保存可	##	ほぼ 10年
5	単1乾電池 エボルタ	10	2,170	10	100	21,700			
6	単2乾電池 エボルタ	10	1,620	6	60	9,720			
7	単3乾電池 エボルタ	100	7,380	2	200	14,772			
8	単4乾電池 エボルタ	40	4,450	5	200	22,150			
9	おしぼりウェット	1	3,054	24	24	9,020			
10	除菌ウェット	1	2,042	72	72	14,697			
11	クワイバールシート	5	504	60	300	30,240			
12	「ニュークロス」5cm幅 伸縮ホータイ	10	1,470	5	50	7,350			
13	「ニュークロス」5cm幅 伸縮ホータイ	10	2,310	5	50	11,550			
14	防災用 安全切れるネット (手首・肘)	1	430	5	5	2,150	2013		
15	防災用 安全切れるネット (手首・肘)	1	430	5	5	2,150			
16	三葉中 大(個別包装)	26	9,712	2	50	19,424			
17	手袋 M	100	987	3	300	2,991			
18	手袋 L	100	987	2	200	1,994			
19	防寒折りカギセ M	100	1,942	2	200	3,884			
20	防寒折りカギセ L	100	2,394	1	100	2,394			
21	カギセ10m	1	441	2	2	882			
22	カット線(格用)	1	1,800	2	2	3,780			
23	防寒コート(防寒)	200	115	2	400	230			
24	マキロンS ジェット&スフ 80ml	1	823	10	10	8,230	2015.1		
25	マキロンS 75ml	1	544	4	4	2,176	2016.9		

新たな担い手による新たな活動を企画する

地域活動の負担が一部の人に集中しないように、新たな担い手を取り込むことで、地域一丸となった取組みが行われています

課題

- ・地域の担い手が固定化・高齢化し、世代交代が進んでいない
- ・若い世代が行事の企画に関わる機会が少なく、若い世代の意見を反映した新たな活動が展開されない
- ・ワークライフバランスよく、働き、暮らし、地域と関わることは難しい

課題を解決するための手法



- ・若い世代が主体的に地域活動に関われるように、若手に企画を委ね、上の世代がサポートする
- ・一部の人に負担が集中しないように、たくさんのメンバーが関わる実行委員会方式で行う
- ・子育てママが集まって外にでる機会をつくり、地域や社会と楽しく関わる

高津わいわいまつり (高津)

★ 既存の役員が若手をサポートし、新しい取組みをはじめ

- ・青年三団体（青少年指導員、子ども会、青年会）の発案で、地域が連携・協力して行う新しいイベントを企画し、地域を熟知した自治連合会の役員がバックアップ
- ・若いメンバーから依頼しづらい団体・企業などは、自治連合会が間に入ることでスムーズに調整が進められた結果、連合振興町会をはじめ、PTAなど10を超える団体が協力。さらに、高津宮など地域内の企業など多数の協力・協賛を得ました
- ・企画したメンバーに負担を集中させず、しっかりと既存の地域団体が連携・協力して地域ぐるみのイベントにすることで、新たな担い手の確保・育成につながっています



地域のこれからを考える意見交換会 (中大江)

★ 地域のこれからを地域で考える

- ・地活協の発足を機に、数年後を見越した地域づくりに向けた地域活動のあるべきすがたを検討
- ・結果、「掲示板の設置」「フェイスブックの立ち上げ」「地活協役員メンバーの充実」が具体化しました

★ 若い世代が考えるこれからの地域

- ・若手メンバーの自由な意見を引き出すワークショップ形式での意見交換会を開催しました
- ・まちづくりセンターでは、このような意見交換会のお手伝いをしています



桃谷男の料理教室 (桃谷)

★ 料理を通じて、男性どうしの交流とアクティブシニアの人材発掘

- 居場所がない、地域とのつながりが少ない退職シニアなどをねらって、男性が気軽に参加できないかと企画。商店街の飲食店などの協力も得て、地域の有志で事業が立ち上げられました
- これまで、地域行事に参加したことのなかった男性が参加し、さらに、他の行事にも参加するようになるなど効果が波及しています
- 料理は素人だった参加者が交替で講師役を務めるという大胆な試みで、事前にテレビ番組などを見てメニューを考えたりして積極的に料理を楽しんでいます
- お世話役の女性に、参加者の男性が料理を振る舞うという企画が大変好評で、料理を通して地域の親睦が深まっています



東平月見の会 (東平)

★ 地域の力を結集して、地域らしく盛り上げる

- 「新しい住民やファミリー層に、もっと地域活動を知って、参加してほしい！」東平月見の会は、そんな想いのもと始まった秋の新イベント
- 「オール東平・メイドイン東平」を合い言葉に、各町会や団体のノウハウやアイデアを積極的に取り入れ、地域みんなで企画を進めました
- ベबीカーを押しながら参加したファミリーからお年寄りまで、ジャズ演奏の合間には、「お月さま」をみんなで眺め、一体感が生まれました



北大江ピクニックオフィス (北大江)

- 「子どもとの時間を大切にしながら働きたい」「公園で仕事をしたら気持ち良さそう」という想いから、子育て中の「ママ」が「外に出るきっかけに」と、公園で子どもを見ながら仕事ができる環境をつくる事業を行っています
- 長年活動されている公園愛護会の協力も得て、デスクやネット環境を整えました。実施していく中で、防災発電機を借りるなど他の地域活動との連携・協力も進んでいます
- 毎回、集まった「ママ」どうして企画提案され、絵本を持ち込んだり、ワークワークショップを取り入れ、子どもの遊べる環境の充実が図られるだけでなく、ミニマッサージの企画など「ママ」向けのサービスも実施
- 誰かがデスクで作業する合間は、他の参加者が子どもを見るという協調関係がつけられています。また、子育てに入る前のスキルを生かすなど、参加した「ママ」どうして新たな活動の話が進み、地域や社会との関わりをつくるきっかけとなっています



マンションなど建設段階から地域との関係をつくる

新たに建設されるマンションの入居者と地域との関係づくりに向けた取り組みが功を奏しています

課題

- ・新たに建設されるマンションの入居者は、地域活動に参加しない人が多い
- ・最近のマンションはオートロックであるため、建設後は入居者と関係を築きにくい

課題を解決するための手法



- ・マンションなどの建築時に建築主や事業者と協議の場をもち、町会加入など地域との関係を築く協定を締結する
- ・部会を立ち上げ、対応方針をまとめたガイドラインを作成し、定期的に情報共有する

建設ガイドライン (中大江)

★ マンション建設に向けたガイドラインを作る

- ・マンション建設後に、マンションの居住者とコミュニケーションが取りにくいことが課題でした
- ・そのためにも、マンション建設前から、建設事業者とコミュニケーションを取れる仕組みづくりが必要で
- ・地域では、そうした課題に対して部会を立ち上げ話し合いを重ね、マンション建設に向けたガイドラインを作りました
- ・ガイドラインには、地域の組織体制と地域内で建設行為を行おうとする際の協議、協定の締結手順、その際のポイントとなる「事前相談」「環境整備」「町会加入」「まちづくり協力」の4点についての説明が記載されています

★ 建設事業者と地域に配慮を求める協定を締結する

- ・解体や新築工事の情報があれば、建築主や建設会社等にアプローチし、ガイドラインを基に説明します
- ・また、近隣説明会の要請、児童の登下校時の安全や近隣の騒音などの配慮事項を定めた工事協定や入居者の町会加入などを定めた管理協定などを締結しています

中大江地区内での建設にあたって

中大江地区まちづくり建設ガイドライン

中大江地区まちづくり協定書

中大江地域活動協議会 中大江地区まちづくりに関する協定書の内容について

中大江連合復興委員会を形成する10町会では、「自分たちのまちはまず自分たちの手で」を合い言葉に中大江地区まちづくり研究会を平成19年に立ち上げ、まちづくり活動の一環である「安心して住みつけられる暮らしへの支援」として平成23年に「中大江地区建設ガイドライン」を策定、平成27年度には中大江東地区と中大江西地区の地域活動協議会が合併して中大江地域活動協議会になったことから、東西両方が協力して中大江地区全体で「中大江地区建設ガイドライン」活動を推進することになりました。

運用にあたっては各町会が主体となり必要な事項を決定いたしますが、ガイドラインによって一定の共通事項を本協定書に盛り込み、これらの目的が達成できるよう事業者の方へ協力をお願いするものです。

ガイドラインでは、大きく「事前相談」「町会加入」「環境整備」「まちづくり協力」の4つの項目を定めてあります。

「事前相談」では、地区の敷地内で行なわれる駐車場の設置、物置場所としての活用、イベントの開催、建築物の建て替え、解体、既存建物への入居（店舗利用含む）等、中大江地区内への居住や事業の開始等を行うことを「建設」行為として、あらかじめその内容について事前に当該町会長へご説明いただくよう定めております。これは自ら暮らしとるに「いつのまにか知らないものができ」ということの無いよう、お互いが理解しあいがら暮らしましょうということなのです。

「町会加入」では、地区内に暮らしながら町会への加入をお願ひしております。町会は皆さんからの町会費で街灯整備、各種情報の提供、ふれあい運動会や盆踊りなど中大江地区のイベント、まちづくり運動などに従事しています。地区に暮らしながら町会費によってさまざまな利益を受けています。全員加入を目指しますが強制ではありませんので、皆様の意思によるものが大きく、特に事業者の方には町会加入を入居条件とすること、事業者が一括または一部負担をするなど、できるだけ町会加入を推進していただきたいと思っております。

「環境整備」「まちづくり協力」では、建設ガイドラインが建設行為に対する物理的な規制ではなく、人と人との接点を持たせるためのガイドラインとの主旨から、この項目では各町会単位でご協力願ひたい事項として、例えば看板の設置、駐輪場等の整理整頓等について個別に協議しますが、安全面や防犯面で工事において重点的に考慮していただきたいことなどを記載しています。また、地区内での防災訓練、町会イベントへの参加、いのかパセル推進等に積極的に関わることでコミュニティを豊かにしますので、まちづくりの協力についても協定に定めています。

建設にあたっては以上の事項について、双方が理解の上内容を決定し、協定書として当該町会と事業者が交わります。

なお、建設事例によって内容は異なるため、細目については協議内容を書面にしたものを別途添付書類としてください。他に詳細内容を定めた協定書が必要となることもあります。一部に建設事業者と交わす工事作業時間や車両運行等の協定書などは本協定書とは主旨を異にするものですので別途協定書をお交わしください。

お互いがそっぽを向いているのでは住みづらい環境はつくれません。お互いさまの心を持って中大江地区をより良いまちにしていきたいです。

平成 年 月 日

中大江地域活動協議会

事前相談

- 中大江地区組織
- 町会規約
- 事業者
(関係者連絡先等)
- 近隣説明
- 協定書
(計画、工事、運営内容等)
- その他

環境整備

- 事業内容
(風俗規制等)
- 建物形体
(管理人設置、見えがかり等)
- 街灯、掲示板等
(整備協力等)
- 事前調査
(工事着手前調査の実施等)
- 環境、景観、防災、備蓄等
- その他

町会加入

- 町会加入
(町会への加入、企業会員)
- 工事協力
(町会員、隣接町会への周知)
- 重要事項説明
(町会加入事項の記載等)
- 継承事項
(町会加入の継承、申渡し)
- その他

まちづくり協力

- 各種イベント
(桜まつり、ふれあい運動会、盆踊り、子ども太鼓、餅つき等への協力)
- 防災訓練
- 子育て支援
- その他

「中大江地区まちづくり建設ガイドライン」4つのポイント

お年寄りや外国にルーツを持つ住民の孤立化防止を工夫する

子ども、お年寄り、外国にルーツを持つ住民などが地域で安心して暮らしていくために、地域の見守りに取り組んでいます

課題

- ・子ども、お年寄り、外国にルーツを持つ住民など、孤立してしまうリスクがある

課題を解決するための手法



- ・住民の課題や関心に合わせて、孤立化防止のための活動に取り組む
- ・専門性やノウハウが必要であるため、NPO や公的な団体の協力を得てみんなで支える

外国にルーツを持つ住民向け相談会（精華）

- ・外国にルーツを持つ住民を孤立させないためにも、NPO 団体や区役所の協力も得ながら、講演会や病気予防、育児の悩み相談を実施するなど取り組んでいます
- ・その他、日本文化を体験してもらうなど、多様な視点からの見守り、交流活動に取り組んでいます



南大江土間カフェ（南大江）

★ ひとり暮らしのお年寄りの住まいを交流拠点に

- ・ひとり暮らしのお年寄りの住まいを開放。気軽に集う「立ち寄り処 てる」を新たに立ち上げました
- ・地域住民が集い、認知症についての理解を深め、地域での支え合いについて楽しみながら考える「土間カフェ」を開催
- ・自宅に地域の人が集まることで、見守られているだけでなく「もてなす」ことでお年寄りが元気になっています
- ・東西に長い南大江地域の東側に拠点ができて、子育て世代などこれまでに地域とつながりのなかった人たちとも交流できるようになりました



大宝住民座談会（大宝）

★ 地域の要援護者の孤立を防ぐために

- ・「70 歳以上の高齢者がどこにお住まいかご存じですか？青のシールのところにお住まいです。結構、たくさんおられますね」「その中で、現在、地域の方などに見守られている方は赤のシールの方です」と、ふれあい喫茶のあとで、大きな地図を見ながらはじまった話し合い
- ・青のシールの方が赤のシールになると安心。「地域の高齢者をどのように見守っていくのか」という課題に、どうしたらよいか気軽に話し合おうと、地域福祉コーディネーターを中心に、区社協の協力を得て企画された「大宝住民座談会」
- ・「行事に参加していない人が心配」「会館で楽しい行事ができれば集まるんじゃない？」地域のみんなでお年寄りを見守っていこうとのやさしさの輪が広がっています



健康づくりに地域みんなで楽しく取り組む

お年寄りが地域でいつまでも元気に過ごしていくために、無理なく、楽しく参加できる活動が企画されています

課題

- ・お年寄りの引きこもりは、認知症や寝たきりにつながる恐れがある

課題を解決するための手法



- ・お年寄りの閉じこもり予防として、みんなで顔を合わせて楽しめるイベントを企画する
- ・毎年違った企画とすることで、マンネリ化を防ぐ

南大江健康ウォーク (南大江)

- ・地域のお年寄りやスタッフなど 100 名近くの方が参加
- ・行先は歴史や文化に触れることができる地域で、毎年変更しマンネリ化を防ぐように努めています。さらに、軽妙な歴史解説が好評の「中央区まちのすぐれもん」の協力を得て、内容の充実を図っています
- ・地域のみんで足の不自由な方を支えながら歩くなど、地域の絆が深まる事業になっています



たまつくり健康ハイキング (玉造)

- ・マキノ高原と熊川宿など、2~5 kmのハイキングコースと、歴史を学ぶ名所等を組み合わせた健康ハイキングは、100名の定員が1週間で満員になる人気事業
- ・地域の役員の方どうしの楽しみとして行っていたものをお年寄りの健康づくりのためにと、地活協発足を機に事業化したものです



玉造地域健康講座 (玉造)

- ・日本人が要介護になってしまう原因第1位の脳卒中。平成29年の玉造地域健康講座では、大手前病院の先生による「脳血管疾患の診断と治療・予防について」、お年寄りを中心にたくさんの方が集まりました
- ・近隣の医療機関・医師を招き、がん、認知症、脳卒中など、毎年テーマを変えながら、講演会と地活協の構成団体にもなっている医療機関の協力のもと、無料健康診断を行っています



芦池健康教室 (芦池)

- ・「芦池健康教室」は、薬剤師会に所属している運営委員の提案から実現しました
- ・内科、耳鼻科、皮膚科、整形外科、薬剤師など、毎回テーマを変えながら講演会。内容は、ふだんの暮らしで気になっている病気のこと。説明はとてもわかりやすく、参加者の質問に、気軽にアドバイスしていただけるので、日ごろ病院ではなかなか聞くことのできない不安や悩みを相談、解消できる人気の事業です



企業の協力で地域活動を多様化する

中央区では、企業は身近な存在であり、企業との連携はいろいろな可能性が期待されます。近年、CFK（中央区フィランソロピー懇談会）の協力で、新たな企業連携が進んでいます

課題

- ・ 地域の企業とのおつきあいが少なくなっている
- ・ CSR（社会貢献）活動など企業も地域活動に関心を持っているものの、連携が進まない

課題を解決するための手法



- ・ CSR（社会貢献）活動に意欲的な企業と連携する
- ・ 防災など課題を共有しやすいテーマを設定し、企業の特技を生かした連携を行う

南船場子育て応援団（渥美・芦池）

★ 企業と連携し、事業を充実させる

- ・ 南船場子育て応援団は、子育て世代の交流や情報交換を目的に立ち上げました
- ・ 毎月講師を迎えて、親子で楽しめる遊びや、保護者向けの講座、体験などを実施しています
- ・ 参加者と地域のお世話役の方とが気軽にお話できるサークルのような関係を構築しています
- ・ 英語でのリズム遊びなどが人気ですが、企業（POLA THE BEAUTY 心斎橋店）の協力による子育て中の母親向けのハンドマッサージも好評を得ています



はちけんや防災訓練（北大江）

★ 企業と地域が同じ課題を共有し、連携する

- ・ 北大江地域は、事業所やオフィスが多く、平日の昼間人口が多く、平日の日中に災害が起きれば、多くの帰宅困難者の発生が予想されています
- ・ いざというときに備え、「防災」という共通する課題を設定することで、日常的に接点が少ない住民と企業が連携し防災訓練に取り組んでいます
- ・ 具体的な企業との連携内容は、船舶による帰宅補助訓練や防災講座、企画展や、関西大学による水災害減少観察型のジオラマ模型展示、消防艇「ゆうなぎ」による河川水放水訓練・乗船体験などがあります



まちの資源を活かして地域固有のにぎわいをつくる

中央区には、豊かな地域の歴史のもと、各地域に個性があります。地域の資源を活用し、個性的なにぎわいづくり、交流事業が行われています

課題

- ・地域の資源を活かしきれておらず、地域の個性を発揮した事業に取り組めていない

課題を解決するための手法



- ・音楽、寄席、伝統文化、公園、水辺など、各地域の資源を探し、地域の個性豊かな事業を企画する

北大江たそがれコンサート（北大江）

★ 地域の特徴を生かしたコミュニティづくり

- ・北大江地域は楽器工房や楽器商が集まる音楽のまちという特色を活かし、毎年10月に一週間にわたって北大江公園や界隈のお店などでライブコンサートを開催
- ・住む人だけでなく働く人にも都心の暮らしの魅力を実感してもらうとともに、文化的な交流の輪を広げています



振舞いぜんざい・船場講演会（浪華）

★ 伝統を受け継ぎ、後世に伝えるとともに、地域の輪を広げる

- ・昔から船場地域の各事業所で正月などに行われてきた「振舞いぜんざい」
- ・街の活性化を願い、船場文化を伝える「船場まつり」の開催日とえべっさんの日に合わせて開催しました
- ・船場まつりに合わせて、船場の歴史と文化を紹介する講演会も開催しています



河原連合盆踊り大会（河原）

★ かつて開催されていたイベントを地域一丸となって復活

- ・かつて地域で行われていた盆踊り大会を復活
- ・千日前道具屋筋商店街が立地する地域がら、提灯、屋台の準備などで商店街と連携しました
- ・子育て層もブースを担当するなど、多様な関係者が、そのノウハウを結集
- ・地域ぐるみで行事の内容、設営、資金、担い手など、一から話し合っって企画することで、地域の一体感が高まりました

大好評につき今年もやります！
夏の思い出作りにとどまらずお越し下さい！

河原連合盆踊り大会
平成第三回

日 7月31日(日) 場 難波千日前公園
河原会館(難波千日前5-25)
時 夜6時30分～9時30分

主催 / 河原連合振興町会 河原地域活動協議会 河原社会福祉協議会
問合せ先 / 河原会館 06-6641-7715

桃谷おもしろ塾 (桃谷)

★ 子どもたちへの地域教育

- ・「桃谷おもしろ塾」は学習塾や習い事に行く子どもが増えるなかで、「暮らしている地域のことをもっと知ってもらおう」という思いから生まれた小中学生を対象にした活動
- ・まちあるきや昔遊び体験、ものづくり教室、科学実験教室、野外宿泊体験など、地域の資源や地域に住んでいる人の知識や技術を生かして、企画・運営
- ・子どもがわくわくする企画を考え、おもしろ塾をきっかけに、子どもたちに地域に愛着を持ってもらい、子どもたちや親子で地域の別の活動にも興味を持ってもらい、新たな地域の担い手につなげようと考えられています



10 地活協設立以前から引き継がれている伝統事業

課題

- ・定番の活動は、長年つづけているとマンネリ化や担い手、参加者の固定化が課題に

課題を解決するための手法



- ・長くつづいている事業には、当初の熱い想いやたいへんな苦勞を乗り越えた歴史、そして、当初の想いをひきついだ大切な理念があり、たいへん参考になります

たまつくり盆おどり大会 (玉造)

- ・「中央区の盆おどり（正確には旧東区の盆おどり）より古いんやで」と話す会長。例年二日間（8月第一土日）で約4,000人が参加しているたまつくり盆おどり大会は、平成29年で第32回目となりました
- ・当初、青年会主催でスタートし、城南と玉造の両連合振興町会の協力のもと、小学校区単位で一体となって盛り上げようと、その後は玉造校下社会福祉協議会主催となりました
- ・たくさんの子供が参加し、わきあいあいとしたふんいきが評判。その秘訣は、各団体が工夫している屋台と基本「50円」という昔から変わらない価格設定、そして、安全な学校が会場になっていることにあります



サークルちゅーりっぷ (子育て応援団) (金甌)

- ・中央区内にまだ子育てサークルがなかった平成10年、区民の有志が、保健師さんのサポートを受けて、「なにわベビーズ」という自主サークルを立ち上げました。「サークルちゅーりっぷ」は、その有志が地元の金甌会館で立ち上げた歴史ある子育てサークルです
- ・活動は、他地域との意見交換などを通して、さまざまな人とのつながりによって支えられています。講師を紹介してもらったり、企業（スターバックス、ファミリーマートなど）の協力など、新しい情報がどんどん入ってきています。ママたちや子どもたちの希望にも添えるように、気になったことは何でもやってみるのが、サークルちゅーりっぷのスタンス。マンネリ化せず、長くつづく活動につながっています



地活協のご用命なら



中央区まちづくりセンター

活動ヒント集に関する問い合わせ、新たな事業の企画や運営に関するご相談は、中央区まちづくりセンターまでお問合せください。

中央区まちセン
ホームページ！



facebook

